

ふるさとの文化財 (1)

小多田善導寺 木造薬師如来坐像

篠山市教育委員会は8月22日、小多田1区の善導寺(加藤義康住職)の本尊「木造薬師如来坐像」を市指定有形文化財に指定、告示しました。

坐像はヒノキの寄木造りで、高さ51・5センチ、柄(のう)衣(え)をまとい、頭には螺(ら)髪(ほつ)、右手は肘を曲げ、掌を前に向ける施無畏印、左手は膝の上に掌を置き、薬壺をのせ、台座に座っています。



写真 篠山市教育委員会提供

仏像には、数奇な伝承があります。奥田楽々斎著『多紀郷土史考』(上巻)によると、八上城落城後、死者の霊を弔うことを業としていた誓願寺の岸空本柳という僧が、小多田、平内の高石山興聖寺に来ると、余りにも無惨に焼けた跡を目にし、岸空は無常を感じて、寺跡を弔うべく、後ろに簀(そび)える「屏風岩」を見ると光るものがあり、岩上に二鉢の仏像が立っていました。岸空は驚き、これを衣の袖に受けて持ち帰りました。

二鉢の仏像は、薬師如来と阿弥陀如来であり、猛火の中、岩上に難を遁(のが)れたことは、誠に奇瑞であるとして、岸空は、薬師如来を本尊とする善導寺を、阿弥陀如来を本尊とする真福寺(河原町)を建立したと記されています。

市文化財保護審議会は、全国の仏像との比較から仏師、運慶や湛慶の流れをくむ「慶派」の

仏師による、13世紀、鎌倉時代前期の作品であること。兵火を免れた伝承が地域に残り、語り継がれているなど、指定の理由としています。

二度と水害を 起こさないために

八上校区自治会長会

今年の夏は異常気象にみまわれ、特に台風11号は8月9日・10日(土・日)に来襲し、1時間当たりの最大雨量は、火打岩48ミ、篠山43ミを観測しました。

昨年被害のあった糯ヶ坪地区は、今回も篠山川の水位上昇に伴い水門を閉鎖すると、用排水路から雨水が住宅地に押し寄せ、消防・工事用ポンプ多数により篠山川に放流することで、事なきを得ました。

しかし、この現状では再度被害が生じる恐れがあり、9月1日(月)高城会館において、台風11号における問題点を検証する「京口橋上流被害予防検証証会」を開催し、意見を交換しました。



大型排水ポンプ



京口地横排水門

これまで、当会は県・市、水利関係者、消防団、8組水害問題対策の会と水害予防について話し合い、井堰・水門の現地調査、洪水時にお

る市関連部署との水防連絡体制の確立、水門の開閉に関するルール作成、大型排水ポンプの購入、雨水排水計画策定、そして篠山川の洪水対策、河川管理用道路の桜枝伐採、路面凹凸補修等の対策をしています。

消防団第7分団 ポンプ操法大会に出場

篠山市消防団ポンプ操法大会が、7月13日(日)午前8時より、ユニートピアささやまに於いて、全21分団が出場し、雨天の中行われました。

この操法大会は、「迅速・適正・安全」な操作方法を身につけることを目的に2年に一度開催されています。



ユニートピア篠山駐車場

第7分団(分団長 上田達也)は、小型ポンプにホースを接続して、標的「火点」をめがけて放水し落とす、小型ポンプの部に出場しました。

指揮者土谷学さん他3名は、36名の団員が見守るなか、日ごろの練習の成果を発揮すべく、きびきびとした動作と伝達、操作を行いました。しかし惜しくも入賞できませんでしたが、優勝は第14分団(西紀南)、2位第6分団(後川)、第3位第11分団(岡野)でした。

二世世代グランドゴルフ大会

体育部副部長 上田哉生

私たちの安心・安全は、消防団員の、日常の訓練によって、守られていることに、感謝いたします。

平成26年7月26日(土)八上まち協主催の三世世代交流グランドゴルフ大会を開催しました。



ホールインワン大会

今夏で、一番を記録しそうな暑さの中、各自治会より60名、10チームの参加をいただき、三世世代の笑顔と交流に出会える場となりました。

暑さも気にせず、プレーに集中する子供たち。自信満々ながら、なかなか頑張るおじいさん、おばあさん、子供たちに、苦戦気味のお父さん、お母さん。暑さが気になりながらも、日頃の練習の成果が出て、さすがと思わせるおじいさん、おばあさん。それぞれの世代が、お互いの好プレーに感心し、プレーに集中する姿を見守り、アドバイスをしたりされたり。三世世代が集まるからこそ見られる光景、生まれる状況を嬉しく思いました。

各自自治会チームが、2ラウンドを終えた後は、子供たちのホールインワン大会を行いました。なかなか賞品に手が届かない、小さな子どもたちのために、カップの旗がどんどん近付いて行きました。微笑ましい光景でした。

本日に暑い中での大会でしたが、参加された皆さんが、真剣に、楽しくプレーしていただき、暑さを忘れて三世世代の交流がはかれたと思えます。ありがとうございました。

第9回 八上ふるさと塾 「雲部車塚古墳他 篠山東部の古墳を訪ねる」

地域おこし部 池田 正男

西暦3世紀から7世紀(古墳時代)にかけて、700基近くの古墳が篠山盆地に造られました。

8月17日(日)午前10時、雨が降る灰色の空を見上げながら、参加者9名、4台の車に分乗して、曾地―洞中1・2号墳、東本庄―雲部車塚古墳、飯塚古墳、北条―北条古墳、小立―※岩井山古墳群・谷田山古墳群、小田中―※稲荷山古墳を見学しました。



曾地-洞中2号墳(前方後円墳・横穴式石室)

兵庫県下第2位全長(復元)158mの雲部車塚古墳は御陵墓参考地のため、堤上から明治29年発掘時の様子について説明があり、隣接する飯塚古墳に登りました。また※を付した古墳には、遺体を埋葬した横穴式石室があり、懐中電灯を手に勇気を奮って入りました。

市東部に点在する古墳を見て、古墳の場所と形、埋葬方法、古墳群など、古代の郷土の歴史を学びました。

第10回 八上ふるさと塾 「雲部車塚古墳に学ぶ 古代の篠山」

地域おこし部 池田 正男

8月31日(日)、夏休み最後の日の第4回「親と子の考古学体験学習」の講座と合わせて22名。観光バスで、神戸市・播磨町に向かいました。今回の目的は、県下第1位の神戸市五色塚古墳を見学して、肌で巨大古墳を感じることに、兵庫県立考古博物館に復元展示されている雲部車塚古墳の被葬者を埋葬した竪穴式石室を見ることです。

午前中は、神戸市埋蔵文化財センターの展示室を見学したのち、復元整備された垂水区五色塚古墳(全長194m)に登りました。この古墳は、淡路島を望む台地上に築かれた前方後円墳です。葬られた人は、4

世紀の終わり頃、明石海峡とその周辺を支配した豪族だと言われています。参加者は古墳の場所、巨大な埴輪等に感動されていました。

午後、播磨町にある県立考古博物館に行き、学芸員の説明を受け雲部車塚古墳の石室を見学しました。石室は朱が塗られ、石室中央に長持形石棺が、その周りに冑(かぶと)、鎧(よろい)など武器を置き、石壁に剣、刀、槍(やり)、鉾(ほこ)、弓矢など武器を掛けていました。絵でしか見ることができない石室の様子がよく理解できました。



五色塚古墳

イベント情報

◎11月15日(土)・16(日) 第29回八上校区文化祭 (於) 高城会館

◎作品展 (於) 高城会館

◎芸能発表 八上小学校講堂

◎11月19日(水) 19:30 篠山市議会『議会報告会』 (於) 高城会館

◎11月23日(日) 13:30 第11回八上ふるさと塾 池田正男

「丹波の大王墓・雲部車塚古墳」 (於) 高城会館

編集後記

● 広報誌への掲載記事等をお寄せください。その他ご意見・ご提案もお待ちしております。

メールアドレス (Yakami-machikyoo@gaia.eonet.ne.jp) ホームページ (URL) http://www.yakami-takashi-ro.jp/

八上校区まちづくり協議会 千六六九-二四三七

篠山市糯ヶ坪甲八十三